

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



避難民への配布を待つ食料

ご支援のお礼とコングシの状況

日本の皆さん、こんにちは。「緑のサヘル」の現地協力団体、AJPEE（環境畜産保全青年協会）のアデリンです。まずは、このたび皆さんからいただいたご厚意に、心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

こちらでは、現在も武装勢力による村落襲撃が続いています。4月中旬には村や住民ではなく、この地域に派遣されている軍隊が襲撃を受け、反撃の末に撤退させるという事件もありました。私たちの移動にも注意が必要で、例えば首都ワガドゥグとの行き来には、車列を組まなければならない、護衛部隊が率いることが義務付けられています。

最初の避難民がコングシ市に到着したのは、2019年末のことでした。以降その数は増え続け、現在コングシ市とその周辺には6万人以上の避難民が暮らしています。これらの人々の多くは、医療を始めとする様々なサービスを受けることなく孤立しており、雨季の到来と共に伝染病のリスクに晒されています。

現地ではいくつかの組織が、避難民が抱える短・中期的な問題を解決すべく活動しています。しかし残念ながら、それらはまだまだ不十分と言わざるを得ません。避難民の困窮は未だに続いており、既に避難している人々にとっても、新たに避難して来る人々にとっても、飲料水と食料、住居と医療の提供が最優先であることに変わりはありません。

ですから皆さんから届いたご支援も、最優先事項の一つである食料の調達に使わせていただきました。食料を受け取ったご家族の喜びようは大変なもので、まるでお祭りのようになった地区もありました。でもそれも当然です。自分だけでなく、家族全員が食べられるようになるのですから。私たちは、これからも「緑のサヘル」の皆さんと共に支援活動を続けていくつもりです。どうぞ、今後ともよろしくお願いいたします。

AJPEE 事務局長 アデリン・サウドゴ

ブルキナファソから



● 避難民支援 ●

7月29日、避難家族に対して食料の配布を行ないました。配布に際しては、多くの避難家族の中でも、特に緊急を要すると思われる家族を対象としました。また、当初は米と併せてトウモロコシの配布を予定していましたが、ご家族の皆さんと相談し、より簡単かつ迅速に食べられるスパゲッティに変更することとしました。

最終的に、今回は8地区に暮らす80家族(計1,007名)に対し、米2,000kg、スパゲッティ400kgを配布することが出来ました。



食料配布に際して集合したスタッフと関係者。

－ 地元紙に掲載された避難民の感想 －

「私たちは長い間 AJPEE、緑のサヘルと一緒に活動し、彼らが常に住民の立場に立って物事を考え、行動することを知っていました。今回の食料配布によって、私たちは秋の収穫期まで食べ繋ぐことが出来ます。両団体と日本の支援者の皆さんには、どれだけ感謝しても仕切れません。一刻も早く平和が戻り、また彼らと共に活動を再開出来ることを心から願っています。」(避難民代表：ラセネ・サウドゴ)

*この活動は「毎日新聞東京社会事業団」様を始めとする多くの皆様のご寄付によって実施されました。現地にはまだまだ助けを必要としている人々がいます。「緑のサヘル」は今後も避難民支援を継続して行きますので、どうぞ引き続きご協力をお願いします！

● 小学校緑化支援 ●

今年度は地域の治安悪化と資金不足を鑑みて実施を見送る予定でしたが、比較的安全が確保されているコングシ市内の10校の教師・保護者から、改めて支援依頼が届きました。



用具を前にした各校教師の皆さん。

これらの10小学校は全て、以前この活動に参加した経験があり、現在も自力で校庭緑化を続けています。ただ、資金的には苗木の調達がやっとであり、用具の更新や追加がほとんど行なっていないのが実情です。また現在は、避難学童の急増という事情もあります。

以上の状況から、2023年度は10小学校に対する用具(バケツ、スコップ、つるはし、各2)の供与を行なうこととしました。

*この活動は「盛岡市立下橋中学校生徒会」様を始めとする皆様からの植林・環境活動への指定寄付によって実施されました。

ありがとうございました

*敬称は略させて頂きました。

【 会員のみなさま 】

井上茂／那口真理子／立屋敷哲／佐藤京子／山野上素充
伊藤春男／高澤美抄子／松本仁一／藤巻晴行／町千恵子
川邊賢治／西田陽子／高橋聖子／玉岡昇治／大久保久美子

他 匿名をご希望の方 1名

【 ご寄付を頂きました 】

増岡一樹／松本恵子／武知ハルミ／高木瑞穂／田中順子／矢部弥生
榎本みつ枝／藤巻晴行／浅輪哲司／山本明子／村上和代／山本淑子
村山真知子／山田真裕美／太田宜子／太田弘子／戎綾子／高橋聖子
山野上素充／木野友義／岩永孝子／木嶋美加子／鈴木潤／玉岡昇治
個別教育フォレスト 安多秀司／ショファイユの幼きイエズス修道会
Organic,Ecology&FairTrad おいものせなか

他 匿名をご希望の方 4名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

鎔谷理恵

他 匿名をご希望の方 1名

上記は 2023 年 5 月 1 日から 2023 年 7 月 31 日までにご支援頂いた方、またそれ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、8 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／トヨタ自動車(株)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(株)ブギ／国際ソロプチミスト大阪-中央
(特活)環境アリーナ研究機構／LIFULL ソーシャルファンディング
環境メディアフォーラム有限責任事業組合／アフリカ料理ライブス
ソフトバンクつながる募金／(特活)国際協力 NGO センター

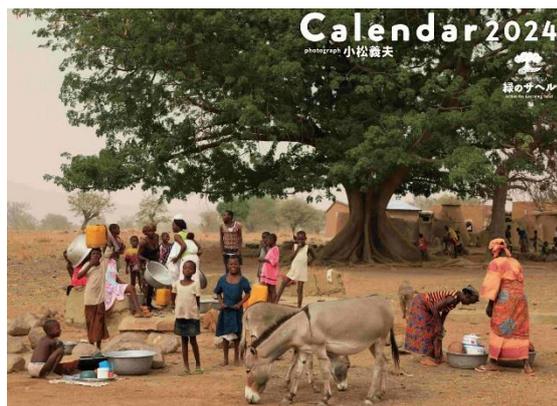
【 写真を提供しました 】

学校法人 駿河台学園 駿台予備学校 学内教材「高3選抜東大地理」



2024年 緑のサヘル オリジナルカレンダー

そろそろ来年のカレンダーのご準備をしませんか？「緑のサヘル」が今年もオリジナルカレンダーを作製しました！毎年多くの皆様からご好評いただいておりますが、今回も世界s各国で人々の暮らしを撮り続ける写真家・小松義夫氏と、旅行者・編集長の蔵前仁一氏のご協力を得て、とても素晴らしいカレンダーが出来上がりました。



最近は何かと暗い話題が多い西アフリカですが、こんな時だからこそ、あえて和やかで微笑ましい写真をご紹介します。きっと西アフリカの人々の本来の暮らしが身近に感じられ、そして愛おしく感じられることでしょう。

このカレンダー1冊で現地の人々の生活を支えることができます。ぜひカレンダーのご購入で国際協力を！同封のカレンダーチラシまたはメールにてお申込み下さい。

サイズ：A4 変形（広げた時 A3 変形） 印刷：オールカラー28ページ
価格：1部 1,200円（税込み）、送料 200円（全国一律・何部でも）
（緑のサヘル東京事務局） agsj_tokyo@sahelgreen.org



La Forêt, C'est la Vie !

Vol.95

編集 緑のサヘル 東京事務局 / 印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 16 番地 N A S ビル 3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041